



CINEMA PLUCH presents

37TH MITO FILM FESTIVAL

第37回水戸映画祭

2022.10.8(土)・9(日) 会場:水戸芸術館ACM劇場
<http://mitotanpen.jp>   

主催:NPO法人シネマパンチ、公益財団法人 水戸市芸術振興財団、水戸映画祭実行委員会 後援:茨城県、水戸市、水戸市教育委員会、一般社団法人水戸観光コンベンション協会
協力:茨城映画センター、310+1シネマプロジェクト、ホテル水戸シルバーイン、あまや座、株式会社ブックエース 協賛:Club Voice、SENGANG*S

令和4年度優秀映画鑑賞推進事業

日本映画が好き2022

主催：水戸市優秀映画鑑賞推進事業実行委員会、公益財団法人 水戸市芸術振興財団、国立映画アーカイブ
特別協力：文化庁、(一社)日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、(株)松竹



国立映画アーカイブが文化庁および日本各地の文化施設と連携・協力して、日本映画の名作を鑑賞する機会を広く提供する事業。英国映画協会『Sight&Sound』誌で映画監督が選ぶ史上最高の映画ベストテン第1位に選ばれるなど、世界的にも不動の評価を誇る小津安二郎監督の傑作を35mmフィルムで上映します。

10:15~『東京物語』 35mmフィルム上映

¥500



1953年松竹(大船)/モノクロ/スタンダード/136分 監督・脚本：小津安二郎
出演：笠智衆・東山千栄子・原節子・杉村春子・山村聰・三宅邦子・香川京子・東野英治郎・中村伸郎・大坂志郎・十朱久雄
この作品を作るにあたって、小津監督は「親と子の成長を通じて、日本の家族制度がどう崩壊するか描きたかった」と語っている。戦後から8年しか経っていない当時、まだ〈高度経済成長〉や〈核家族〉といった表現がなされていない頃の作品である。尾道に住む老夫婦が、医者の子や美容師の長女が住む東京に出かける。幸福そうな家庭も経済的には苦しそうである。東京で暮らす昔の同僚も親子関係に不満をもち、子供たちが計画した熱海への旅行も疲れただけ、唯一の救いは次男の戦争未亡人との一時であった。帰郷の途中に立ち寄った三男の下宿で気分を悪くした母は、尾道へ帰って間もなく死んでしまった。駆けつけた子供たちがあわただしく帰った後、残された老父はしみじみと孤独を噛みしめるのだった。「キネマ旬報」ベストテン第2位。1957年のロンドン映画祭での上映、翌年の英国映画協会(BFI)サザランド賞受賞が、世界の小津ブームのきっかけとなった。

Aプログラム 13:50~『目の見えない白鳥さん、アートを見に行く』 ¥1,500

「全盲の美術鑑賞者」白鳥さんをめぐるアメイジングな日々。水戸映画祭にてプレミア上映! GUEST



2022年/日本/107分
監督：三好大輔・川内有緒
出演：白鳥建二・佐藤麻衣子・森山純子 ほか

恋人とのデートがきっかけで初めて美術館を訪れた全盲の白鳥さんは、「全盲でもアートを見ることはできるのかも」と、あちこちの美術館を訪れるように。いつの間にか「自由な会話を使ったアート鑑賞」という独自の鑑賞法を編み出しました。水戸から東京、新潟、そして福島へ。アート作品をめぐりながら旅する白鳥さんと友人たち、美術館で働く人々、新たに白鳥さんと出会った人々が紡ぎ出す豊かで自由な会話。その旅路や見えない日常を追ったドキュメンタリー。

※「全盲の美術鑑賞者」白鳥建二さんは、水戸芸術館現代美術センターで開催されている、視覚に障害がある人との鑑賞ツアー「session!」のナビゲーターを10年にわたり務めています。
※バリアフリー日本語字幕付きで上映します。



三好大輔
[映画監督/プロデューサー]



白鳥建二
[全盲の美術鑑賞者]



川内有緒
[ノンフィクション作家]

ナビゲーター
森山純子
[水戸芸術館現代美術センター]

Bプログラム 17:45~『偶然と想像』 ¥1,500

第71回ベルリン国際映画祭 審査員グランプリ(銀熊賞)受賞作品!「偶然」をテーマにした3話から成る、『ハッピーアワー』『ドライブ・マイ・カー』の濱口竜介監督初の短編集。 GUEST

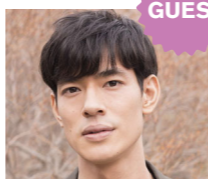
2021年/日本/121分 監督・脚本：濱口竜介
出演：(第一話)古川琴音・中島歩・玄理 / (第二話)渋川清彦・森郁月・甲斐翔真 / (第三話)占部房子・河井青葉



軽快な物語の始まり、日常の対話から一転、鳥肌が立つような緊張感と共に引き出される人間の本性、切り取られる人生の一瞬……日本映画の新時代を感じさせる体験が、観る者の心を捉える。

2021年カンヌ国際映画祭では『ドライブ・マイ・カー』が脚本賞など4賞、2020年ヴェネチア国際映画祭では『スパイの妻』(劇場版)が共同脚本賞(監督賞)、そして本作『偶然と想像』がベルリン国際映画祭で銀熊賞(審査員グランプリ)を受賞……今や世界が最も注目する映画監督の一人であり、日本映画の新時代をリードする存在ともなった濱口竜介監督。

本作は「偶然」をテーマにした3つの物語で構成され、監督自身が「このスタイルをライフワークとしたい」と語る、初の「短編集」となった。



中島歩 [俳優]



占部房子 [俳優]



河井青葉 [俳優]

Cプログラム 10:20~『劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン』 ¥1,500

新しい時代が到来し、世界が大きく変わっていかうとしている今、【不変】で【普遍】の愛をあなたに――。愛する人へ送る、最後の手紙。代筆業に従事する彼女の名は、「ヴァイオレット・エヴァーガーデン」。

GUEST ゲスト調整中



2020年/日本/140分
監督：石立太一 脚本：吉田玲子 キャスト：石川由依・浪川大輔
アニメーション制作：京都アニメーション

感動的な物語と、繊細でダイナミックな映像表現で、アメリカ、ドイツ、シンガポールなど、世界各地で熱狂の渦を巻き起こした【ワールドツアー】。観客たちの心を躍らせ、作品世界へと誘った【オーケストラコンサート】。

物語、音楽、映像の全てが美しく組み合わせられた稀有なアニメーション、『ヴァイオレット・エヴァーガーデン』。

2018年よりTVアニメが放送され、情緒あふれる豊かな世界観と登場人物の繊細な心情描写が話題となったシリーズ劇場版が水戸映画祭に登場です。

Dプログラム 14:45~『激怒』 ¥1,500

狂っているのは世界か俺か。《安心・安全な町》が牙をむくとき、暴走刑事の怒りが爆発する! 「犯罪ゼロの町、富士見町へようこそ。」 R15+

2022年/日本/100分/映倫：R15+ 企画・脚本・監督：高橋ヨシキ
出演：川瀬陽太・小林竜樹・奥野瑛太・彩木あや・水澤紳吾・松壽翔平・松浦祐也・中原翔子・森羅万象



企画・脚本・監督は、映画評論、グラフィック・デザイナー、アートディレクターと多彩な顔を持つ高橋ヨシキ。本作で長編監督デビューとなる。主演は、水戸発映画『ローリング』(富永昌敬監督)、『天然☆生活』『レッドアイズ監視捜査班』など、インディペンデントから商業映画、テレビドラマまでボーダーレスに活躍中の川瀬陽太。この2人がタッグを組んだ映画『激怒』がついに完成。劇伴は『ローリング』『ECTO』『あのこは貴族』の渡邊琢磨と、三島賞作家で音楽家の中原昌也が担当し、重低音とオーケストラレーションが交錯し脳髄を直撃するサウンドに仕上がった。オープニングとエンディングのアートは世界的な人気を誇るゴシック・アーティストのダニエル・セラ。ユニークで優秀なスタッフ&キャストが集結し、腐った世の中に一撃をくらわす、大作をも凌ぐ前代未聞のバイオレンス・エンターテインメント映画が誕生した。



高橋ヨシキ
[映画監督・アートディレクター]

Eプログラム 18:30~『MADE IN YAMATO』 ¥1,500

YAMATOから生まれた5つのストーリー GUEST



2021年/日本/120分
『あの日、この日、その日』 監督・編集：山本英 出演：村上由規乃・山崎陽平・小川幹郎 ほか
『四つ目の眼』 監督・脚本・編集：富永昌敬 出演：尾本貴史・福津健創・円井わん
『まき絵の冒険』 監督・脚本・編集：竹内里紗 出演：兵藤公美・堀夏子・加賀田玲・石山優太 ほか
『エリちゃんとクミちゃんの長く平凡な一日』 監督・脚本・編集：宮崎大祐 出演：柳英里紗・空美・本庄司・小川あん
『三月の光』 監督・構成・編集：清原惟 出演：小山薫子・石倉来輝・田中真琴・南辻史人 ほか

豊かな自然も特徴的な街並みもない、日本のどこにでもある街YAMATO 5人の監督たちはそこに何を見たのか? あるいは見なかったのか? 当たり前の人々の当たり前の暮らしが風景につけた小さな滲みが今、世界に向けて広がり出す神奈川大和市。新幹線が走り東名高速が通り厚木基地に離着陸するジェット機が低空飛行する、どこでもなく、どこにでもつながつている街。そんな大和の地が5つの物語を作り上げた。

©踊りたい監督たちの会



宮崎大祐 [映画監督]



富永昌敬 [映画監督]

野外映画上映会『スパイダーマン：ノー・ウェイ・ホーム(吹替版)』上映

9.23(日)17:20~ 会場:水戸芸術館広場



©2021 Columbia Pictures Industries, Inc. and Marvel Characters, Inc. All Rights Reserved. MARVEL and all related character names: © & ™ 2022 MARVEL

※小雨決行。荒天の場合は9/25(日)に順延予定 定員:300名 ※要事前申込(先着順。申込は1組最大6名まで)

料金:無料(有料エリアのみ900円) ※事前申込なしでの当日参加はお受けできません。

一年に一度、まちなかの野外で、気兼ねなく映画を観られるまにしたいという思いで、2012年から続けてきました。今年もコロナ禍での開催となり、事前申込制となります。ご不便をおかけしますが、ご協力よろしくお願いたします。また、今年もクラウドファンディングにチャレンジしています。あの夢のような一夜が実現できるような皆様のお力を貸してください。

上映作品『スパイダーマン：ノー・ウェイ・ホーム(吹替版)』 149分/2021年/米/配給:ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

監督:ジョン・ワッツ 出演:トム・ホランド、ゼンテイヤ、ベネディクト・カンバーバッチ、ジョン・ファヴロー、ジェイコブ・バトロウ、マリサ・トメイ、アルフレッド・モリーナ

全ての運命が集結するー

世界中にスパイダーマンであることを明かされたピーター・パーカー。ドクター・ストレンジはピーターから頼まれ、人々の記憶からピーターがスパイダーマンだという記憶を消す呪文を唱えるが、やがて時空が歪み…、マルチバースが出現。それぞれのユニバースから過去のヴィランたちを呼び寄せてしまう。

■主催:水戸クリエイティブウィーク実行委員会 ■共催:(公財)水戸市芸術振興財団

■協力:茨城映画センター、K5 ART DESIGN OFFICE、NPO法人シネマパンチ ■企画:310+1シネマプロジェクト ■問合せ:090-3904-4806(寺門)

公式サイト



参加申し込み



クラウドファンにも
ご協力ください



第80回悠悠映画塾 全国縦断人権・平和映画祭『約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』『オレの記念日』



9.27(火) ①『約束』10:30~12:30 ②『オレの記念日』14:00~16:00

会場:県民文化センター小ホール(ザ・ヒロサワ・シティ会館)

料金:前売¥1,100 当日¥1,400 悠悠映画塾会員¥1,000

※出演者桜井昌司さんの舞台トーク有

※2作品鑑賞の場合はチケット半券発行で500円に優待

『約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』

2013年/日本/120分 監督・脚本:斉藤潤一

出演:仲代達矢・樹木希林・天野錦雄・山本太郎

『オレの記念日』

2022年/日本/103分

監督:金 聖雄 出演:桜井昌司 語り:小室等

●前売り券取扱所:県民文化センター・京成百貨店・ひたちなか文化会館 ●主催:映画センター上映実行委員会

●協力:問合せ:茨城映画センター(Tel.029-226-3156)、日本国民救援会茨城県本部(Tel.029-253-1214)

映画 あまや座

〒319-2102 那珂市瓜連1243(JR水郡線瓜連駅から徒歩約5分) Tel.029-212-7531 <http://amaya-za.com/>

Amaya-Za Urizura Ibaraki JAPAN

※現在感染症対策で席が15席のみになります。満席の場合がありますので、HPまたはお電話などで事前予約をお願いします。内容が変更になる場合があります。

あまや座は2022年10月で5周年を迎えます。

日頃映画を楽しみにしてくださる皆様へ感謝を込めて、今年も様々な企画を予定しております!

●無垢で残酷で大切な作品『こちらあみ子』9月17日から上映、舞台挨拶開催予定! ●珠玉のウオン・カーウアイ作品に4Kレストアで新たに出会い直す『恋する惑星』『天使の涙』『エノスアイレス』『花様年華』『2046』5作品10月上映 ●形に囚われない愛を描く『フタリノセカイ』10月上映、舞台挨拶開催予定! ●今年もミニシアターが愛する巨匠・佐々木清監督特集開催! あの茨城出身の女優さんのご来館も予定!

※詳細はHPなどご確認ください。またHP、お電話などで事前予約をお願いします。内容が変更になる場合があります。



祝!
5周年

TICKET INFORMATION

※出演者のキャンセル、変更に対しての払い戻しは一切行いませんので予めご了承ください。

10.8(土)・9(日) A~Eプログラム入替制 [全席指定] 各 ¥1,500

10.8(土) 日本映画が好き [全席指定] ¥500

※各プログラム30分前開場となります

●内容に関するお問い合わせ NPO法人シネマパンチ Tel.029-253-5783

●会場に関するお問い合わせ 水戸芸術館 Tel.029-227-8111 <https://www.arttowermito.or.jp/>

[チケット取扱い] 水戸芸術館(営業時間9:30~18:00、月曜休館)

◎エントランスホール内チケットカウンター

◎チケット予約センター Tel.029-225-3555

◎ウェブ予約(24h・発売初日は9:30から)

<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

9月9日(金)
発売!!



●未就学児の入場はご遠慮ください。●車椅子でのご来場は、チケット予約時に水戸芸術館へお知らせください。●感染症対策として座席数を制限しておりましたが、規制緩和に伴い販売座席数を増やしております。予めご了承ください。

【新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください】

●新型コロナウイルス感染症の再拡大など、状況の悪化により内容の変更や公演の中止または延期を余儀なくされる場合もございますので、最新情報はウェブサイトやSNSにてご確認ください。●館内ではマスクの着用をお願いします。●手洗いと手指の消毒にご協力ください。●まわりの方は距離をおとりください。●体調がすぐれないお客様はご来場をお控えください。●入場の際は検温を実施しております。ご協力をお願いします。37.5度以上の熱がある場合はご入場をお控え願います。●その他の取り組みは、水戸芸術館ウェブサイト及び会場内に掲出ております。ご確認ください。ご協力をお願いします。

●水戸芸術館への交通のご案内

■JRご利用の場合

上野駅から常磐線、水戸駅下車。北口バスターミナル4~7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。

■高速バスご利用の場合

東京駅八重洲南口バスターミナルのりばから常磐高速バス水戸行で約100分、泉町1丁目下車、徒歩2分。

■お車ご利用の場合

常磐自動車道水戸インターより約20分。芸術館地下駐車場をご利用ください。

(30分まで無料、30分~1時間までは200円。それ以降は30分毎に100円。)

順次
更新中!

f cinemapunch / mito.short.film.festival @mito_tanpen @mito_eigasai

公式サイト <http://mitotanpen.jp>

